

令和3年度第5回和田区地域協議会 次 第

日時：令和3年10月13日（水）午後6時30分から
会場：ラーバンセンター 第4研修室

1 開 会

2 議題等の確認

3 議題

(1) 自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」

(2) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

4 事務連絡

5 閉 会

上越妙高駅周辺の活性化について（第2回和田区地域協議会（R3.6.24開催）で出た意見）

公共施設の整備による活性化

○総論

- ・北の方もまだ空いている土地があると思う。市の建物などを作って地域や市全体が活性化するようにする（宮崎副会長）

○体育施設の整備

- ・県立武道館や体操場ジムリーナのように公共の建物があれば、全国大会を誘致して企業などが自然に集まってくる（片田委員）

○市の機関の整備

- ・長岡市のアオーレのように駅から5分くらいのところに市の施設ができるとよい（横田委員）。
- ・人を呼ぶためにアオーレ長岡のような施設が必要というのもよい意見だ（佐藤勝雄委員）

道路、交通の整備による活性化

○幹線道路の整備

- ・道路が整備されていること。例えば、山麓線から青木を通る道路の整備、新井信用金庫からガード下をくぐっていく道路を山麓線まで通すなど。立地条件は素晴らしいので、道路を整備すれば、自然に人や企業が寄ってくる。スーパーの誘致について、道路が整備され事業が成り立てば自然に出てくる（片田委員）

○駅を拠点とした公共交通の整備

- ・交通ハブというか、駅からのいろいろな交通経路がほしい（高橋委員）
- ・駅を人流の拠点とし、上越妙高駅に行けばどこへでも行ける状態。例えば、高速バスのターミナルがこの駅と繋がるようにする（横田委員）

民間企業、店舗等の進出による活性化

○飲食店、商店、デパート、スーパー、企業の進出・誘致

- ・上越市の玄関口としてではなく、上越市と妙高市の中心、核となること。駅周辺にたくさんの飲食店、商店、デパート、スーパー、企業が進出し、他の駅周辺並みになれば良い。駅周辺が活性化すれば地域全体がよくなり、かがやきが停まるようになる（金子委員）
- ・ショッピングモールやスーパーがあるとよい（篠原委員、高橋委員、平原委員）
- ・オフィス街みたいなものがあれば、働き場もあり、活性化に繋がる（篠原委員）

○専門学校の誘致

- ・東口のJAえちご上越農協和田支店の跡地は東口のメインであり、専門学校を誘致して建設されるとよい。コロナ禍だが、賑わいのある駅になればよい（佐藤勝雄委員）

賑わいの創出による活性化

○総論

- ・賑わいの創出。人が集まれば、人も物も動き活性化する（植木委員）
- ・交流や情報交換がされている状態。また、楽しみや出会いが生まれている状態（平原委員）

○イベント等の実施による創出

- ・駅周辺の美化活動、朝市みたいなもの、パン祭り、山菜祭り、そういうものがやれたら少しでも人を呼ぶことができるのではないかと（山岸委員）

○観光振興による創出

- ・駅の南の方のほ場整備が終わると数十年は農地のままになると思う。農地を活用した観光を今後考えられないか。生産組合等と何かできないか考えていければと思っている（草間委員）
- ・駅周辺に通年を通しての目ぼしい観光資源がない（高橋委員）

○環境整備による創出

- ・西口の釜蓋遺跡の芝生の所を、例えばコスモス等を植えて、駅を降りた人に「ここは花が綺麗だ」等、インパクトを与えるようにする（宮崎副会長）

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（抜粋）

地域協議会における取組【検討シート】

ア 意見交換について

アー１ 主な回答

- ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要
- ・課題に気付き、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要
- ・日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要

アー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化
[下線部は市議会提案を反映]

【過去の取組】

○前期まで（～令和元年度）

平成 22 年 3 月：和田区情報交換会（和田地区町内会長会、和田地区商工振興会、和田地区農家組合長会、和田土地改良区、和田地区農政対策協議会が参加）

平成 23 年 12 月：和田地区振興協議会との意見交換会

平成 26 年 10 月：大和倶楽部との意見交換会

平成 27 年 11 月：大和倶楽部との意見交換会

平成 28 年 10 月：和田小・大和小の児童保護者との意見交換会

平成 30 年 11 月：自主的審議事項「雪を生かした地域づくりの推進について」に係る地元関係団体（和田地区振興協議会、上越市新幹線駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会、和田小・大和小 PTA、大和倶楽部など）との雪イベント実施に向けた意見交換会

平成 30 年 12 月：同上

○今期（令和 2 年度～）

なし

【今後の取組（方針案）】

○地域住民等との意見交換について

（意見交換の実施に関するご意見など）

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（抜粋）

地域協議会における取組【検討シート】

イ 会議運営について

イー１ 主な回答

- ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。
- ・月１回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。
- ・毎回１時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。
- ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。
- ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。
- ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。

イー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

- ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定
- ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用
- ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施
- ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮
- ・分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり

【視察や研修の過去の取組】

○前期まで（～令和元年度）

- 平成 23 年 11 月：新幹線開業による地域への影響やまちづくりの考え方について理解を深めるため、長野新幹線の佐久平駅及び周辺市街地を視察（金谷区地域協議会と合同で実施）
- 平成 24 年 10 月：建設中の新幹線新駅構内、新駅周辺を視察（三郷区地域協議会と合同で実施）
- 平成 25 年 6 月：中部電力上越火力発電所、直江津港を視察（和田地区振興協議会と合同で実施）
- 平成 26 年 10 月：建設中の釜蓋遺跡ガイダンス、吹上遺跡、十ヶ字頭首工を視察
- 平成 26 年 11 月：和田区の人口・世帯数の現状や将来推計等について、市創造行政研究所から説明
- 平成 27 年 10 月：地域づくりの人材育成をテーマに板倉おもてなしの会、飯山駅観光交流センター等を視察
- 平成 29 年 8 月：自主的審議事項「雪を生かした地域づくりの推進について」に関連して公益財団法人ゆきだるま財団（安塚区）の雪利用の取組を視察

○今期（令和 2 年度～）

なし

【今後の取組（方針案）】

○会議開催日、開催時間、回数、会議の運営方法等について
（現在の開催方法に対する改善点等に関する意見など）

○視察や研修の積極的な実施について
（視察や研修の実施に関するご意見など）

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（抜粋）

地域協議会における取組【検討シート】

ウ 情報発信について

ウー１ 主な回答

- ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。
- ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。

ウー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫

【過去の取組】

- 年４回発行（和田区全戸配布）

【今後の取組（方針案）】

- 発行回数について

- 掲載内容について

（現行の掲載内容に関するご意見など）